

都市再生整備計画(第5回変更)

かわさきえきしゅうへんちく
川崎駅周辺地区

かながわ かわさきし
神奈川県 川崎市

平成27年9月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	川崎市	地区名	川崎駅周辺地区	面積	257 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標 大目標：職・住・憩のバランスのとれた広域的な集客機能を備えた活力と魅力にあふれる広域拠点の形成 目標1：駅周辺地区を一体化することにより交通結節点機能を強化し、市の玄関としてふさわしいまちづくりを推進する 目標2：安全性・快適性及びまちなみの景観の向上を図り、人と環境にやさしいうるおいある都市空間づくりを推進する 目標3：市民の憩いの場の創出と歴史的資源を活かし、回遊性を高めた個性的で賑わいのあるまちづくりを推進する								
目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ・川崎駅周辺地区の現況は、東京・横浜に近接する地理的優位性から、JR川崎駅には、東海道線、京浜東北線、南武線の3路線があり、京急川崎駅には、京急本線、京急大師線の2路線が乗り入れており、市内最大の利用客数を誇っている。また、市役所をはじめとする都市機能が集積する本市の玄関口として、首都圏における広域的な交通利便性の高い主要ターミナル駅となっており、平成22年には羽田空港再拡張・国際化により、川崎駅周辺地区の利便性・潜在性がますます高まっている。 ・川崎駅周辺の土地利用は、JR川崎駅を中心に大きく東口地区及び西口地区に分けられる。東口側は、本市の表玄関であり、駅前広場に面した大規模商業店舗や駅周辺市街地の商店街を中心とする商業機能の集積とともに、市役所や区役所をはじめとする公共機能、中枢業務機能や都市型サービス機能等の都市機能が集積した界限性のある地区である。一方、西口側では、駅近くから住宅市街地が展開しており、現在、西口再開発事業において、都市型居住機能を中心とし、商業、業務、文化機能などが融合した新たな川崎の顔づくりが進められ、川崎駅周辺地区では、二面性のある拠点形成が進められている。 ・平成15年、都市の再生を図るため、JR川崎駅、京急川崎駅の両駅を中心とした地域(約53ha)が都市再生緊急整備地域に指定されるとともに、少子・高齢社会の進展、ライフスタイルの多様化、社会経済環境の変化などから、新たに生じている課題解決に向けて、平成16年7月から、学識者、市民、商業者、公共交通事業者、交通管理者等で構成する「川崎駅周辺総合整備計画策定協議会」を設置し、将来を見据えた駅周辺地区のあるべき姿や都市基盤施設等の整備、利便性・回遊性の向上、バリアフリー化への対応など様々な観点から、協議、検討を進め、平成18年度に川崎駅周辺総合整備計画をとりまとめた。 ・川崎駅周辺総合整備計画を踏まえ、平成18年度に都市再生整備計画(川崎駅周辺地区)を策定し、交通利便性が高い、都市機能が集積した活力と魅力にあふれる広域拠点の形成を目標にし事業を推進している。 ・JR川崎駅東西地区の整備により集客力が高まっているが、回遊性や京急川崎駅とのアクセス性が不十分である。また、自転車総需要に駐輪場整備が追いつかず、放置自転車が溢れ、通行の妨げとなっており、都市景観を損なっている。一方、居住人口は増加しているものの、東口の商業機能が空洞化し、憩い・レクリエーション機能も不十分であるため、広域的な拠点機能が十分に発揮されていない。 ・平成25年3月に本市の交通政策のマスタープランである「川崎市総合都市交通計画」を策定し、本市の広域拠点である川崎駅周辺地区については、「公共交通の利用促進」や「駐車施策の推進」などを位置付け、誰もが利用できる公共交通を駅を中心により利用しやすく、強化することで、将来にわたる市民生活を支えることを目標に施策を推進している。								
課題 ・JR川崎駅西口地区の大規模商業施設等の開業とともに、東口地区における大規模商業施設のリニューアルなどの機能更新とあわせ東西両地区を結ぶ歩行者主動線である駅東西自由通路の利用者の通行量が増加している。これに伴う歩行者動線の輻輳、安全性などを考慮し混雑解消、交通利便性の向上を図る必要がある。一方で、京急川崎駅周辺地区の商業・業務系施設の老朽化が進んでいるため、機能更新が求められている。 ・川崎駅東口周辺では、「本市の玄関口」にふさわしいまちづくりが進められている一方で、路線バスやタクシーなど様々な交通手段が集中し、交通混雑が続く過密地区となっているため、安全・安心で快適な交通環境の確保が求められている。特に、荷さばき車両については、店舗直近における路上荷さばきにより、駅周辺の安全な歩行環境や幹線道路の円滑な交通流動を阻害していることから、荷さばき車両の秩序化を図る必要がある。 ・川崎駅東口駅前広場周辺においては、駐輪場が整備されているが、常に満車状態であるため、自転車が放置されており、円滑で安全に利用できる歩行空間の確保やまちなみ景観の向上が課題となっている。このため、放置自転車への周知徹底や走行マナーの向上などのソフト的な取組み活動もあわせ改善を図る必要がある。 ・駅周辺の大規模マンション開発等による人口増加が見込まれるとともに、羽田空港の国際化に伴い、京急川崎駅の利用者の増加も期待される。一方、東京や横浜の二大商圏へ購買客が流出し、商業機能の空洞化などが懸念されている。このため、JR川崎駅と京急川崎駅との回遊性の向上や、東海道などの歴史的資源を生かし、広域交通拠点や生活拠点としてのさらなる機能向上の必要性が生じている。 ・川崎駅に近接する富士見公園周辺地区は、公園内に市民利用施設等公共施設が多数立地しているため、公園本来の緑地が少なく、都心における総合公園としての機能回復等が求められている。また、市民利用施設等公共施設は、老朽化や耐震面などで課題のある施設が多数あり、施設の更新・再整備が必要となっている。川崎駅周辺における商業・業務機能と憩いの場としての機能等を連携・強化することにより、総合的な集客機能を備えた広域拠点としてより魅力のあるまちづくりを推進する必要がある。								
将来ビジョン(中長期) ○川崎市新総合計画(平成17年3月) 平成17年3月に策定された川崎市新総合計画において、川崎駅周辺地区は広域拠点の形成を図る地区として位置づけられ、首都圏における地理的優位性を活かし、既存の高い商業・業務機能の集積を活かしながら、機能強化を進めるとともに羽田空港の再拡張・国際化に対応した民間主導による都市の再整備を適切に誘導・促進し、広域的な集客機能を備えた活力と魅力にあふれる広域拠点の形成を重点的に推進する。・商業・業務など都市機能の向上や広域的な拠点地区の形成を支える駅前広場や基幹的な幹線道路等の公共施設の整備改善、交通結節点機能の向上など交通体系との連携を強化し「広域調和・地域連携型」都市構造をめざしたまちづくりを推進する。								
目標を定量化する指標								
	指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
	駅の乗降客数	人／日	JR川崎駅と京急川崎駅の1日平均乗降人員の合計	東西の一体的な駅周辺整備による広域的な利便性の向上度合いを駅乗降客数の増加で評価する。	490,367	H21	520,000	H27
	放置自転車数	台	JR川崎駅東口・京急川崎駅周辺地区における放置自転車数	総合的・戦略的な放置自転車対策を行うことで、放置自転車数を低下させ、安全で快適な歩行空間の創出を図る。	2,200	H21	1,000	H27
	通行量	人・台／日	休日の川崎駅周辺地区の通行量(歩行者及び自転車)	快適で歩きやすい歩行空間の実現や、都市の魅力やにぎわいが高まることによる来街者の増加を、主要13地点における通行量の変化による把握する。	495,585	H21	510,000	H27
	試合及びイベント開催日数	日	富士見公園に立地する長方形競技場での試合及びイベント開催日数	都心における総合公園としての機能回復を図るため、魅力ある施設として長方形競技場を整備し、試合及びイベント開催日数の変化を把握する。	64	H21	70	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 (広域的拠点形成と地域連携のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動や乗り換えにおける利便性や円滑化等、快適な移動空間の確保による交通結節機能の強化や、公共交通の利便性向上による広域的な拠点形成を図る。 ・羽田空港国際化による集客を見据え、JR川崎駅と京急川崎駅の連絡を強化し、交通結節点としての利便性を高める。 ・京急川崎駅周辺地区については、羽田空港アクセス等の優れた立地と特性を活かし、民間活力による国際化に対応した都市機能の再編整備の適切な誘導・支援を行い、新たな玄関口として魅力あるまちづくりを推進する。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路事業 (駅前本町線(他3路線)) ○優良建築物等整備事業(京急川崎駅東街区) ○道路事業 (川崎駅扇町線) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業活用調査 (都市再生整備計画事業効果検証調査) <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅市街地総合整備事業 ○北口自由通路等整備事業
<p>整備方針2 (人と環境にやさしいまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の放置自転車の解消に向けた自転車対策への取り組み、市民等による自転車利用マナーの啓発活動等、ハード面とソフト面からの自転車対策を推進する。 ・まちなみの景観性を向上させるため、駅周辺の歩道等を高質化するなど、歩行者等の快適性の確保を図る。 ・駅周辺の無秩序な路上荷さばきを抑制するため、安全な場所に荷さばき車両を誘導することで、荷捌き車両(車)と歩行者の流れの整序化を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路事業 (川崎駅扇町線) ○生活基盤施設((仮称)川崎駅本町自転車駐車場) ○高質空間形成施設(一般県道川崎町田、市道小川町線) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業活用調査 (都市再生整備計画事業効果検証調査) ○地域創造支援事業 (荷さばき対策社会実験) <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅市街地総合整備事業 ○北口自由通路等整備事業
<p>整備方針3 (往来しやすく、個性的で賑わいのあるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎駅周辺地区の回遊性、拠点性の向上を図るため、川崎駅周辺の多様な事業主体の連携を強化するとともに、商業者や地域住民が主体となってまちの活性化を図り、賑わいのあるまちづくりを推進する。 ・川崎駅周辺の既存の施設を活用し、住民や来街者の憩いの空間の創出やスポーツやレクリエーションなどの活動の拠点機能の強化を図る。 ・川崎駅周辺地区における地域の文化資源等を活用したまちづくりの推進を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公園(富士見公園(長方形競技場)) ○高質空間形成施設(一般県道川崎町田、市道小川町線) <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域創造支援事業((仮称)東海道まちづくり文化・交流拠点) ○事業活用調査 (都市再生整備計画事業効果検証調査) ○まちづくり活動推進事業 (中心市街地活性化マネジメント事業) <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅市街地総合整備事業 ○北口自由通路等整備事業 ○都市公園事業 (富士見公園)
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,074	交付限度額	1,229.6	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	3,074	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1,229.6		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	0.0		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		駅前本町線(他3路線)	川崎市	直	L=359m	H23	H23	H23	H23	71	71	71		71
		川崎駅扇町線	川崎市	直	L=25m	H26	H26	H26	H26	14	14	14		10
公園		富士見公園(長方形競技場)	川崎市	直	2.88ha	H23	H27	H23	H26	1,793	1,793	1,793		1,793
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	自転車駐車場	(仮称)川崎駅本町自転車駐車場	川崎市	直	450台	H23	H24	H23	H24	394	394	394		394
高質空間形成施設	緑化施設等	一般県道川崎町田、市道小川町線	川崎市	直	849㎡	H24	H25	H24	H25	30	30	30		30
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業		京急川崎駅東街区	民間事業者	間	0.4ha	H25	H27	H25	H27	210	210	70	140	70
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,512	2,512	2,372	140	2,368

…A'

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園														
河川														
下水道														
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

…A''

基幹事業 総計(①+②)

総計										2,512	2,512	2,372	140	2,368
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	-------	-----	-------

…A=A'+A''

提案事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業	(仮称)東海道まちづくり文化・交流拠点施設	—	川崎市	直	655㎡	H23	H24	H23	H24	613	613	613		613
	荷さばき対策社会実験	—	川崎市	直	37ha	H26	H26	H26	H26	7	7	7		7
事業活用調 査	都市再生整備計画事業効果検証調査	—	川崎市	直	—	H27	H27	H27	H27	4	4	4		4
まちづくり活 動推進事業	中心市街地活性化マネジメント事業	—	川崎市	直	—	H18	H27	H23	H27	82	82	82		82
合計										706	706	706	0	706

提案事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造 支援事業														
事業活用調 査														
まちづくり活 動推進事業														
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

提案事業 総計(①+②)

総計										706	706	706	0	706
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----	-----	---	-----

合計(A+B)

3,074

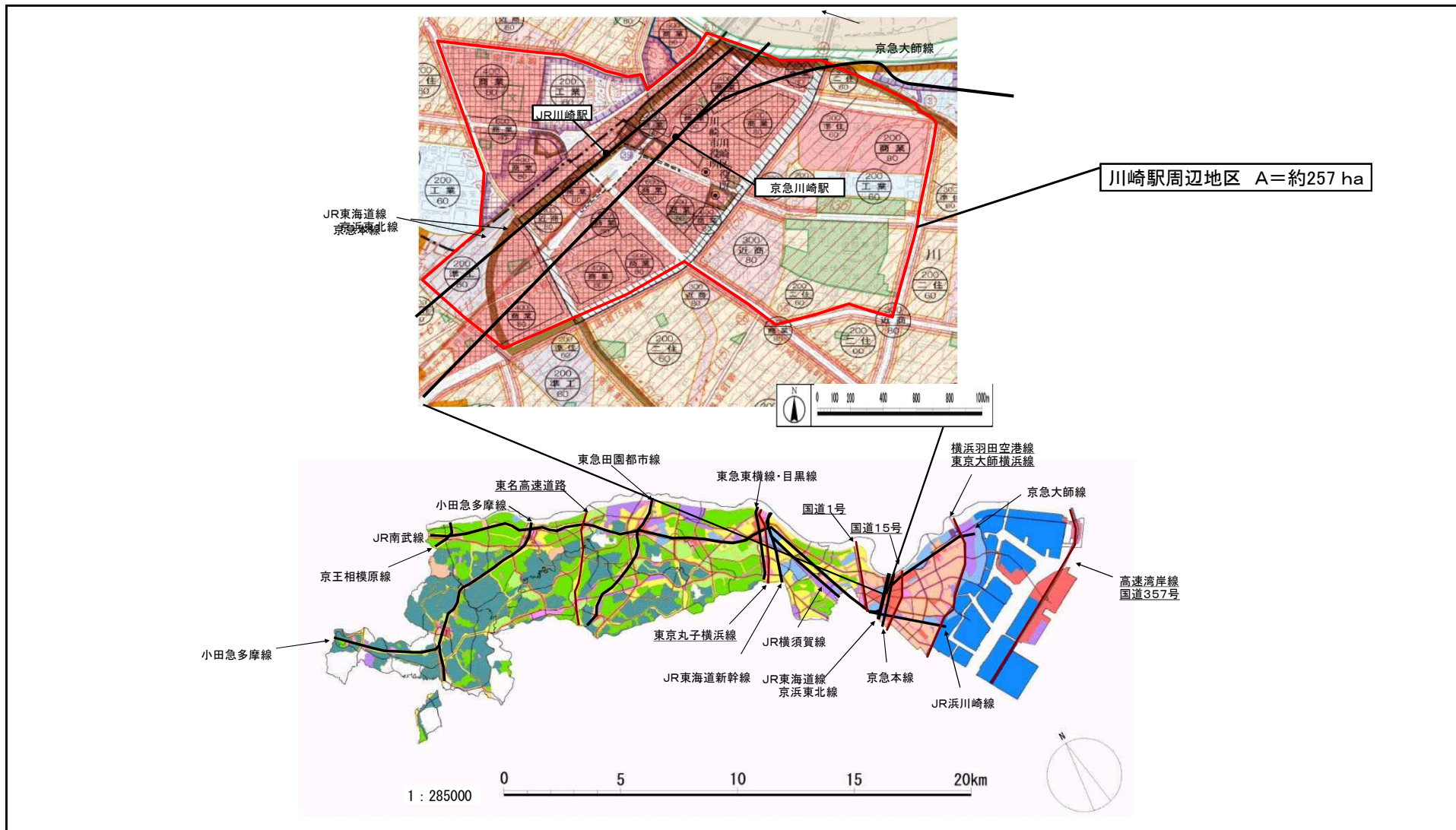
(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
住宅市街地総合整備事業(公共空間等整備)	大宮町、中幸町、堀川町	川崎市	国土交通省	36.1ha		○			H7	H29	16,475
北口自由通路等整備事業	駅前本町、堀川町	川崎市	国土交通省	4,000㎡		○			H19	H29	10,453
都市公園事業(富士見公園)	富士見	川崎市	国土交通省	09.ha		○			H27	H31	1,535
合計											28,463

<交付対象事業等一覧表>

都市再生整備計画の区域

川崎駅周辺地区(神奈川県川崎市)	面積	257 ha	区域	川崎区砂子1丁目、砂子2丁目、駅前本町、榎町、小川町、新川通、日進町、東田町、富士見1丁目、富士見2丁目、堀之内町、本町1丁目、本町2丁目、南町、宮前町、宮本町、幸区大宮町、中幸町3丁目、中幸町4丁目の全部と川崎区旭町1丁目、池田1丁目、大島1丁目、境町、下並木、堤根、幸区堀川町、南幸町2丁目、南幸町3丁目、柳町の一部
------------------	----	--------	----	--



川崎駅周辺地区(神奈川県川崎市) 整備方針概要図

目標	職・住・憩のバランスのとれた広域的な集客機能を備えた活力と魅力にあふれる 広域拠点の形成	代表的な 指標	駅の乗降客数 (人/日)	490,367 (平成21年度) →	520,000 (平成27年度)
			放置自転車数 (台)	2,200 (平成21年度) →	1,000 (平成27年度)
			試合及びイベント開催日数 (日)	64 (平成21年度) →	70 (平成27年度)

